

令和2年度使用小学校用教科用図書の採択理由について

種目	発行者名	主な採択理由
国語	東京書籍	<p>学年段階に応じた言語活動が設定されるとともに、語彙を広げる工夫や情報の扱い方を身に付ける工夫などの方策が講じられている。また、各単元のでびきの終末に「言葉の力」の欄を設け、その単元で児童が身に付けるべき言語能力を単元の内容に即した表現で示している。1年間の学習や単元毎の見通しがもてるように「すすめ方」が具体的に示されている。また、単元毎の学習過程を「つかむ」「取り組む」「振り返る」の3ステップで構成し、「つかむ」では、既習事項を確認した上で、その単元の見通しをもち、終末でしっかりと振り返りをしていくようになっている。</p> <p>これにより主体的に学び、自分の成長を実感できるように工夫されている。「取り組む」では、「問いの文」が示され、課題を明確にし、単元を通して課題解決的に国語科の学習を進められるようになっている。その過程で、挿絵とその吹き出しなどを使い、伝え合う活動も取り入れ、思考力や想像力を養うことができるように工夫されている。単元の最後には、身に付けた力を他教科や生活に生かす方策を示している。伝統的な言語文化や読書に親しむ方策も工夫されている。</p>
書写	光村図書	<p>基礎的・基本的な書写技能を身に付けるために、巻頭で書写用具の使い方、取り扱い方、姿勢について写真やイラストを使って示していること、「たいせつ」マークで基本点画のポイントが示されていること、2色の淡墨を用いて筆の穂先の通過を示していること、筆順の流れを丁寧に示していること等により、スモールステップで学習を進める工夫がされている。また、レイアウトとしては、原則見開き2ページで、初めにポイントを示し、その後に手本が示される作りになっており、学習の見通しがもてる工夫がされている。巻頭で学習の進め方を明示し、学習過程を「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の3ステップで見通しをもって主体的に学べるようになっている。「確かめよう」では、友達と確かめ合ったり、話し合ったりする活動を取り入れ、考えながら学習に取り組むようになっている。</p> <p>低学年では書写体操を取り入れたり、3年生ではシールを活用したりするなどの工夫もある。学年に応じて手紙や掲示板などの活用例が示され、6年生では「書写ブック」が添付され、他教科や日常生活に生かせる工夫などもされている。</p>
社会	日本文教出版	<p>児童が交流を重ねながら学習を進めていく構成となっており、学習内容がぶれないように工夫されている。そのため、児童の思考の流れを大事にした学習構成となっており、児童が意欲をもって追究し、問題を解決していくことが主体的にできるよう配慮されている。また、「見方・考え方コーナー」「学び方・調べ方コーナー」を設定し、基礎的・基本的な知識や観察・資料活用力を育成するための支援が効果的に配置されている。</p> <p>3学年の「市のようにすくらしのうつりかわり」の単元は川越を教材として取り上げ、郷土のよさの理解が一層図れるとともに、市の副読本との活用とあわせることにより、理解がより一層深まることが期待される。</p> <p>資料が豊富であり、大きな写真資料や臨場感のあるイラスト等が随所に配置され、興味・関心をもって学習が展開できるよう工夫されている。学習に役立つウェブサイトを見るためのデジタルマークを掲載し、学習の深化に効果的である。また、社会的重点課題に関する教材の充実も図っている。</p>
地図	帝国書院	<p>左端上に地方区分等のインデックスが付けられ、地図の配色も明るく落ち着いたある穏やかな色調で、ユニバーサルデザインを全編にわたって取り入れ、用いた文字も分かりやすく配置されている。また、各見開きには土地の高さと土地利用のインデックスが付き、土地の様子を把握しやすいよう工夫されている。市町村名も細かく掲載し、交通網等は最新の情報を加えるなど、調べる活動を一層充実できるよう工夫されている。概観の捉えやすい160万分の1の地図と通常の100・50・30万分の1の地図の2部構成で、3年生から6年生の幅広い学年で十分に活用できるよう配慮されている。</p> <p>資料活用能力を高め、主体的な学習を促す「地図マスターへの道」やキャラクターの吹き出しを設定し、活用スキルや社会科の見方・考え方が身に付くよう工夫されている。タブレット等を活用した学習の支援のため、各ページにQRコードを設け、学習への興味・関心を高められるようにしている。</p>

種目	発行者名	主な採択理由
算 数	東京書籍	<p>問題解決的な学習を基本にして構成され、自分の考えや友達のことを表現する活動を取り入れるなど、思考力・判断力・表現力を伸ばすように工夫されており、算数の内容を学ぶ過程で、数学的な見方・考え方をはぐくめる構成になっている。第1学年第1分冊のA4判中綴じの紙面（さんすうのとびら）や、小中の接続を意識した振り返りの設定など、校種間の接続が意識されている。</p> <p>キャラクターの言葉や補助発問によって、数学的活動を通して問題解決ができるように工夫されている。単元末の「たしかめよう」では、理解や技能の定着を図る問題が設定されている。巻末に児童がすぐに自己評価ができる解答付きの「ほじゅうのもんだい」などが設定され、個に応じた難易度の問題に取り組めるようにしている。巻頭の「学びのとびら」では、算数の学び方が明示され、学習内容を生活や学習に活用する態度が育つよう工夫されている。</p> <p>「Dマーク」があるところでは、デジタルコンテンツを活用し、図形の仕組みの理解や反復練習をすることで習熟を図ったりできるようになっている。</p>
理 科	啓林館	<p>理科の基礎・基本が身に付き、科学的な思考力・表現力を伸ばすことを意識している。主体的に問題解決に取り組む、学習の成果や学習の有用性を実感できるようにすることを大切にしている。</p> <p>鮮明な写真やイラストが豊富に使われている。問題文はマークと太字で、重要な用語は太字で記されている。生活経験を基にして、児童から問題を引き出すことができるよう工夫されている。生物の共通性・多様性や生命の神秘さを実感できる話題を紹介し、自然環境への意識を高めようとしている。導入や予想、計画、考察などの場面で対話例が示され、児童が考えるための手がかりとなっている。空間認知をしやすくし、見通しをもって学習を進められるようなモデルを巻末につけている。単元末に、図や写真から情報を読み取る問題などを扱い、思考力を高めようとしている。</p>
生 活	東京書籍	<p>上巻巻頭の「どきどき わくわく1ねんせい」では、スタートカリキュラムで行われる活動が具体的に示されている。また、下段に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をイラストで示し、保護者向けのメッセージを入れ児童と保護者が一緒に教科書を開き、学校生活への期待を高める工夫がされている。</p> <p>教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力の3つの柱を、吹き出しや表現作品で具体化しているため、「何をするのか」、「何ができるようになるか」がひと目で分かるようになっている。また、生き生きとしたダイナミックな写真で児童の学習意欲を喚起するため、A4サイズになっている。</p> <p>上巻巻末には、春夏秋冬の季節に見られる主な動植物を実物大で描いた「ほんとうのおおききポケットずかん」があり、切り離して屋外に持ち出せるようになっていて、学習効果を高める工夫をしている。</p>
音 楽	教育芸術社	<p>音楽の様々な諸要素を含んでいる楽曲を多く取り扱っている。学年間の系統性・関連性がある構成になっており、児童が学習に取り組みやすいよう工夫している。身の回りの音に注目する学習を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を無理なく育むことを意識している。鑑賞教材や音遊び等で身体反応を伴った拍、リズム感等の習得ができるような題材構成や教材の配置になっている。</p> <p>階名を補助的に音符に記入するなど、音程感の習得に効果的である。2次元コードから指導に役立つ画像などのコンテンツを閲覧できるようになっている。「1人で」「みんなで」を繰り返す活動が入っており、友達とコミュニケーションを図ったり、協働して楽しんで活動したりする例が多く示されている。児童の学習状況に応じ、課題に対して児童自ら調べ、話し合っって学習を深める場面も明示されている。</p>

種目	発行者名	主な採択理由
図画工作	開隆堂	<p>学習の要点を明確に捉え、見やすくレイアウトしている。造形活動の楽しさや喜び、友だちとの豊かな関わりの中での学習の必要性を明示している。</p> <p>材料や用具の扱い方や表現の工夫を、巻末や題材ごとに図や写真を用いて示している。造形的なものの見方・考え方や育てたい資質能力に重点をおき、題材を工夫している。作品の解説は、活動の意図や感じたこと、工夫したことを簡潔に記している。児童の思いやイメージに沿った幅広い参考作品を掲載している。児童の主體的な活動や友だちとの交流活動の様子を、大きく写真で伝えている。新しい素材を用いたり、様々な表現方法を取り入れたりできる題材を工夫している。「みんなのギャラリー」として、伝統工芸品を用いたものづくりのよさを掲載したり、動物園内の表示板によって、生活の中の造形を掲載したりすることで、幅広い鑑賞の視点をもつことができるようになっている。QRコードのついているページがあり、紙面にはない作品例をパソコンなどで見るできるようになっている。</p>
家庭	開隆堂	<p>導入では、「フォトランゲージ」を使って、生活の様々な場面を想起して学習に入り、題材の始めに問いかけの文で課題意識を高める工夫がされている。各題材を問題解決学習の3段階「見つける・気づく」「わかる・できる」「生かす・深める」で構成している。それにより、学習過程を見通し、見方・考え方を働かせながら、生活を自分のこととして捉えられるように組み立てられている。「話しあおう」「考えよう」などの場面が題材の中に設定され、児童が、疑問について友達と意見交換をしながら、解決方法を考えていくことで、深い学びに繋がるように工夫されている。</p> <p>学習過程がスモールステップで積み重ね、着実に知識・技能を身に付けていくように構成されている。実習については、技能面を自己評価できる「できたかな」チェック欄があり、細かく確認しながら安全に進めることができるようになっている。各題材に「一口メモ」「参考」の欄を設けたり、単元末「やってみよう」学期末「チャレンジコーナー」学年末「レッツトライ」の活動例を示したり、児童が主體的に取り組み、生活に生かすことができる工夫がなされている。</p>
保健	学研教育 みらい	<p>学習の進め方が明記され、見通しをもって学びに向かうことができるよう、「つかむ」→「考える・調べる」→「まとめる・深める」という学習内容が見開き2ページ構成となっている。「まとめる・深める」では、学習したことを基に、自分の考えを記述し、キャラクターの言葉により、他の人と伝え合うように工夫されている。鮮明でわかりやすい資料を配置し、今日的な健康課題を積極的に取り上げることで、児童が身近に感じられるよう配慮されている。「かがくの目」では、科学的な根拠を提示し、内容を詳しく説明するつくりになっている。用語を解説する「ことば」欄を設けている。中学校での学習内容が示されており、運動と健康を系統的に学ぶことができ、児童が生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成することができるように工夫されている。</p>
英語	東京書籍	<p>各単元の導入では、小学校を舞台にした身近な題材が取り上げられ、学習への関心・意欲を高める工夫がされている。</p> <p>各単元の展開ページでは、学習指導要領の趣旨を具現化した小学校外国語教材「We Can!」、外国語活動教材「Let's Try!」に近い活動を多く盛り込んで、「コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力」の育成を目指すことができるようにしている。</p> <p>各単元は、3つの段階で構成されている。Starting Out（導入）では、音と映像で重要表現を知り、Your Turn（展開）では、ペア・グループ活動を通して重要表現に慣れるよう工夫されている。Enjoy Communication（まとめ）では、単元で学習した表現力を使い、思いを形にして楽しみながら思考力・判断力・表現力を高める構成となっている。さらに、各単元にOur Goalとして目標が明記され、単元の最後には異文化理解のページがある。</p> <p>別冊「Picture Dictionary」が5年生に供給され、小学校で学びたい言葉や表現がジャンル別に1冊にまとめられている。</p>

種目	発行者名	主な採択理由
道 徳	学研教育 みらい	<p>児童自身で課題を見つけ、特定の価値観を押しつけることのないように、全ての教材の冒頭に主題名は記載しない工夫が施されている。</p> <p>「いのちの教育」を最重点テーマとして、全学年にわたり、内容項目「生命の尊さ」の教材を3点設定している。特に、低学年では「しっかり生きる」、中学年では「仲よく生きる」、高学年では「ともに生きる」を考えさせる教材を複数取り上げ、いじめ未然防止につながる道徳性を育成するよう構成している。さらに、いじめなどの心の問題については、直接的・間接的なアプローチが可能な教材を用いて、幅広い視点から学習できるようにしている。読み物資料の最後にある「考えよう」では、従来の発問にとどまらず、考え議論する道徳をふまえた発問や、他の学習へ発展を促すような発問例が示されている。</p> <p>A4判のため視覚的にゆったりとした紙面で、文字の大きさだけでなく、発達段階に応じて、児童が興味・関心をもちやすい魅力のある教材を配置し、印象的な挿絵や写真を配列し、児童の学習意欲を高める工夫をしている。QRコードを使い、インターネット上の補助教材を活用することもできる。</p>